



最初にご確認ください

- マウス本体 ..... 1台
- ドライバソフト ..... 1枚 (Windows用CD)
- 取扱説明書 ..... 1部

本取り扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社Webサイト (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

1. ジェスチャーマウスの接続手順
2. はじめに
3. 各部の名称とはたらき
4. 本製品の特長
5. 警告
6. 健康に関する注意
7. 対応機種・OS
8. 接続する前に必ずお読みください
9. マウスをパソコンに接続します
10. ドライバソフトをインストールする前にお読みください
11. 付属のドライバソフトをインストール
12. ドライバソフトの特長
13. オンライン製品サポート
14. 保証規定

## 1. ジェスチャーマウスの接続手順

詳細は各項目をご覧ください。

対応OSを確認します  
→「7.対応機種・対応OS」

コンピュータの電源を入れWindowsを起動させ、USBポートに接続します  
→「9.マウスをパソコンに接続します」  
※ジェスチャーの基本動作は→「4.本製品の特長」へ

ボタン割付けやジェスチャー内容をカスタマイズする場合、添付ドライバのインストールが必要です。  
→「10.ドライバをインストールする前にお読みください」

## 2. はじめに

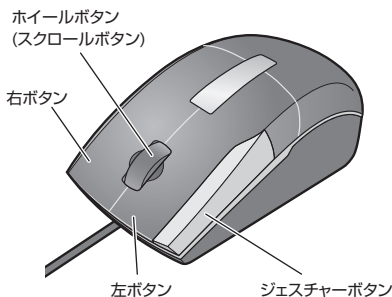
このたびは、ジェスチャーマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、ジェスチャーボタンを搭載し、様々なアプリケーションでマウスジェスチャー機能を使用することができます。今までのマウスジェスチャーとは違い、ジェスチャーボタンは「右クリック」「左クリック」の機能を持たないため、カーソルがファイルやリンク設定されている文字の上にある場合でも、ドラッグやメニュー表示などの誤動作を起こすことがありません。本製品は、オプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。本製品はマウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロール等が行えます。またMicrosoft IntelliMouse機能に対応していますので、MS OfficeのようにIntelliMouse機能をもっているアプリケーションであれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、データズームなど)が行えます。

※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

## 3. 各部の名称とはたらき

### ■ジェスチャーボタン

- このボタンを押しながらマウスを上下左右に動かすことで様々な機能を動作させることができます。ドライバをインストールすれば、各アプリケーションごとに割付けるショートカットキーを設定することができます。(詳しくは「12.ドライバソフトの特長」をご覧ください。)
- インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、ジェスチャーボタンを押しながら左ボタンを押すことで、縦スクロール・横スクロールが可能になります。(スクロールスピードの設定は「12.ドライバソフトの特長」をご覧ください。)



## 3. 各部の名称とはたらき (続き)

### ■左ボタン・右ボタン

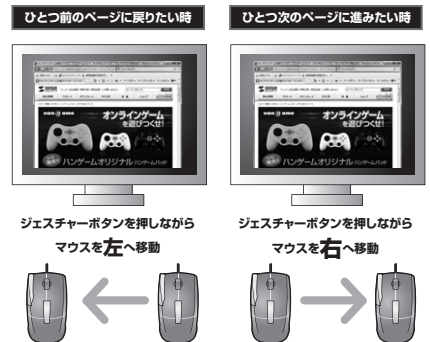
左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きやポップアップメニューの表示をすることができます。左ボタン・右ボタンのどちらもドライバをインストールすれば、各アプリケーションごとに割付けるショートカットキーを設定することができます。(詳しくは「12.ドライバソフトの特長」をご覧ください。)

### ■ホイールボタン(スクロールボタン)

- インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。
  - スクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。
  - ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS Officeなどのアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。
    - ・「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
    - ・「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。
- ドライバをインストールすれば、各アプリケーションごとに割付けるショートカットキーを設定することができます。(詳しくは「12.ドライバソフトの特長」をご覧ください。)

## 4. 本製品の特長

本製品は、ジェスチャーボタンを押しながらマウスカーソルを一定の方向に動かすことで、Windowsやアプリケーションのショートカットキー、キーボードの個別のキーを機能させることができるマウスです。カーソルを特定のメニューやアイコンまで動かす必要がないので、割付けられた機能はその場で実行させることができます。例えば、Web閲覧中以前のページに戻りたい場合には、「戻る」のボタンを押さずに、ジェスチャーボタンを押しながら左に動かすだけでOKです。また、従来の割付けボタンに比べ、多数のカーソル動作のパターンを登録できます。



### ■差し込むだけで、すぐに便利な機能が使用できる

付属のドライバソフトをインストールしなくても、差し込むだけで便利な機能が最初から使用できます。初心者の方にも安心設計です。

デフォルトで割付けられているもの一覧	
ジェスチャーボタン+上	Page Up(上スクロール)
ジェスチャーボタン+下	Page Down(下スクロール)
ジェスチャーボタン+左	戻る(Internet Explorer)
ジェスチャーボタン+右	進む(Internet Explorer)

### ■ドライバインストールで、思い通りにカスタマイズ!

付属ドライバをインストールすれば、各アプリケーションごとに割付けるショートカットキーを設定することができます。Windows準拠のものから、各アプリケーションのメニューに使用されているショートカットキーも割付け可能です。また、ドライバインストール時には、Microsoft Wordなどのソフトには、最初から便利な機能が初期設定されています。(詳しくは「12.ドライバソフトの特長」をご覧ください。)

### ■ドライバをインストールすれば、ジェスチャー操作を確認できるから忘れても安心

ジェスチャー操作内容

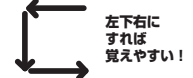
ジェスチャーボタンを押しながらマウスを動かすと、画面上にカーソルの軌跡がオレンジ色のラインで表示されます。ジェスチャー操作の内容も画面に表示されるのでジェスチャーを忘れても安心です。ジェスチャー操作内容は、自分で表示内容を編集できます。

カーソルの軌跡

### ジェスチャーをわかりやすく!

ジェスチャーの割付けは、7回までのカーソル移動で割付けできるので割付け操作の数は何千通りも可能です。カーソル移動を覚えにくい人は、アルファベットの文字やカタカナなどに置き換えて覚えるのとわかりやすいです。

コピーのジェスチャーをアルファベットのCに置き換えて...



### 今までのマウスジェスチャー機能とはここが違う!

### 全てのアプリケーションでジェスチャー機能を使用できる!

付属されているドライバソフトは、様々なアプリケーションで使用できます。アプリケーション固有のショートカットキーの登録もでき、動作内容を示すウィンドウに表示する動作名称も自分で入力できます。(詳しくは「12.ドライバソフトの特長」をご覧ください。)

### ジェスチャーボタンが搭載されているので誤動作がおこらない!

ジェスチャーボタンは「右クリック」「左クリック」の機能を持たないため、カーソルがファイルやリンク設定されている文字の上にある場合でも、ドラッグやメニュー表示などの誤動作を起こすことがありません。

### ショートカットキーだけでなく、キーボード個別のキーが割付けできる!

同時押しでのショートカットキーだけでなく、キー単独の割付けも可能です。例えば、Enterキーのみを登録すると、マウスだけで改行や入力の確定させることも可能です。コピー・ペースト後に、キーボードを触ることなく操作することができます。(詳しくは「12.ドライバソフトの特長」をご覧ください。)

## 5.警告

### ■テレビ・ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることをご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせるとお試しいたください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

### ■注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

## 6.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。

また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

## 7.対応機種・OS

### ■対応機種

- Windows搭載パソコン、各社DOS/パソコン、NEC PC98-NXシリーズ

### ■対応OS

- Windows 7/Vista/XP

## 8.接続する前に必ずお読みください

### ■本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、右のような画面が表示されます。

USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が不可に設定されている機種もあります。

※「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。表示がIntel(インテル社)以外の場合もありますので、詳しくは本体(マザーボード)メーカーのサポートにお問い合わせください。



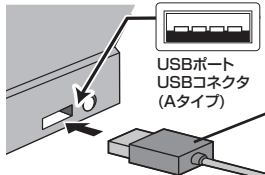
### ■BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合

- BIOS上のUSBをenable(イネーブル=有効)にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

## 9.マウスをパソコンに接続します

- ①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。マウスを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。

- ②本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。



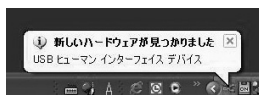
- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、ディスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。

### 〈Windows 7・Vistaの場合〉

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

### 〈Windows XP・2000の場合〉

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



## 10.ドライバソフトをインストールする前にお読みください

### ※重要(必ずお読みください)

本製品に添付のドライバソフトがインストールされていない状態でも、マウスの基本的な機能は使えます。横スクロール機能、ボタン割付け等の特別な機能を使う場合、添付のドライバソフトのインストールが必要になります。

### ■内蔵ポインティングデバイス用ユーティリティの切離し

本製品添付のドライバは、各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを切離すか、添付ドライバをインストールなさらずにお使いください。

各ユーティリティによって切離し方法が異なります。下記をご覧ください。

- NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合  
デバイスマネージャ→マウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。  
途中「このデバイスに適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。
- 東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。
- IBM ThinkPadシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。
- Compaq Armadaシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。  
その後デバイスマネージャ→マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。  
途中「このデバイスに適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

### 例) NEC PC98-NXの場合

NEC PC98-NXにマウスを接続すると

- スクロールが動作しない。
- カーソルのスピードを変更しても、再起動すると元に戻ってしまう。
- スクロールの設定ができない。
- コントロールパネルのマウスが開かない。

などの症状が発生することがあります。

これは、タッチパッドのユーティリティの影響です。

### ■<回避方法>

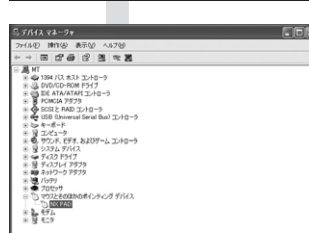
Windows XPでのマウスドライバの変更方法を示します。ここではNX PADを標準PS/2ポートマウスに変更する手順を例に取ります。CD-ROMやフロッピーディスク、インターネットから内蔵ポインティングデバイス用ドライバソフトをインストールされている場合は、この手順を行わないでください。

- ①タッチパッドをユーティリティで「使用しない」にしている場合は「使用する」に変更してください。
- ②以下の要領でドライバの更新を行います。

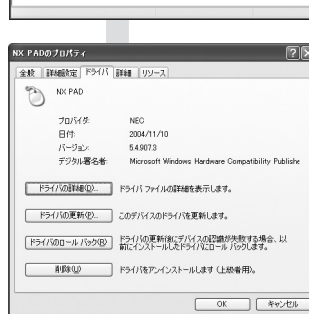
下記はWindows XPでの一例です。OSや機種により多少画面表示が異なりますが、設定方法はほぼ同じです。



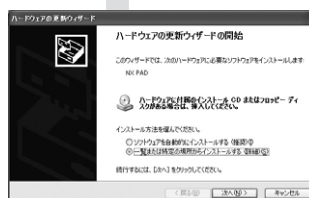
- ①デバイスマネージャを開きます。コントロールパネルからシステムのプロパティを開くか、マイコンピュータのプロパティを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。



- ②マウスドライバのプロパティを開きます。ここではNX PADをダブルクリックします。



- ③ドライバのタブをクリックし、続けて「ドライバの更新」のボタンをクリックします。



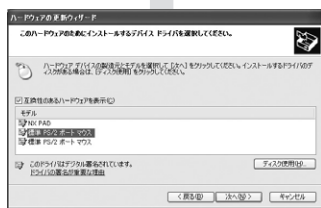
- ④左の画面が出たら「ドライバの場所を指定する」にチェックして「次へ」をクリックします。

## 10.ドライバソフトをインストールする前にお読みください(続き)

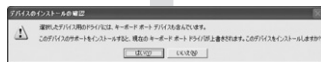


⑤ここでは左のラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。  
上を選択すると、選択肢に求めるデバイスが出てこない場合があります。

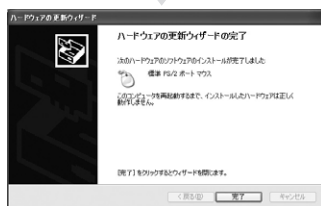
⑥ここで求めるデバイスが出てくれば、選択して「次へ」をクリックします。  
求めるデバイスが見つからない場合、下のラジオボタンを押して⑦に進みます。



⑦左の画面が出たら「次へ」をクリックします。  
ドライバのインストールが行われます。Windows XPのCD-ROMを要求された場合は画面の指示にしたがって入れてください。



⑧左のようなメッセージダイアログが表示されることがあります。  
「はい」をクリックしてください。



⑨左の画面が出たら「完了」をクリックします。

以上で前準備は終わりです。添付のドライバソフトのインストールを開始してください。

## 11.付属のドライバソフトをインストール

付属のドライバソフトをインストールする際は、他のアプリケーション等をすべて終了させてから行ってください。

- ①Windowsを完全に起動させ、付属のドライバディスクをCD-ROMドライブにセットしてください。
- ②CDからSetup.exeファイルをダブルクリックし、インストーラを起動すると、以下のような画面が表示されます。



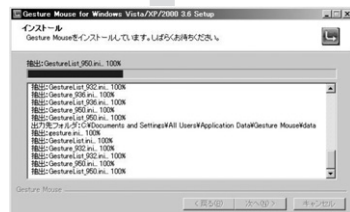
※または、Windows 7・Vistaの場合は「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行(R)」で名前(O):  
E:\Setup.exe

※XP/2000の場合は「スタート」→「ファイル名を指定して実行(R)」で名前(O):  
E:\Setup.exe

と入力していただくと、インストーラが起動します。(CD-ROMドライブがEドライブの場合)

※インストールを中断する場合は「終了」をクリックしてください。

③Gesture Mouseセットアップへようこそ  
-----次へ(N))



④セットアップステータスが表示され、インストーラが実行されます。



⑤Install Shield Wizardの完了

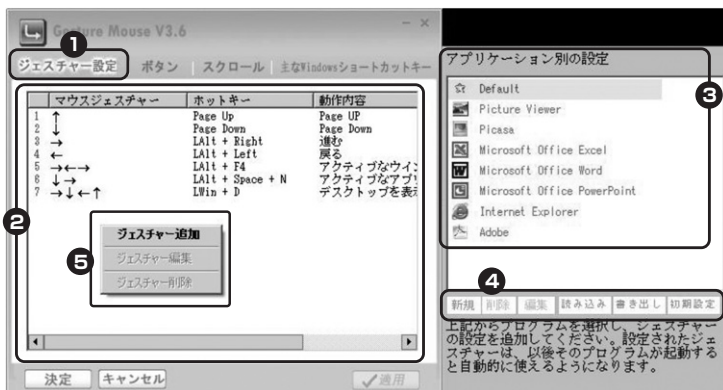
## 12.ドライバソフトの特長



マウスアイコン

### ■ドライバソフトの設定画面を開く

「スタート」→「プログラム」→「Gesture Mouse」から「マウスの設定」を実行、もしくは右下のマウスアイコンをダブルクリックすると、ドライバソフトの設定画面を開くことができます。



①ジェスチャー設定  
ジェスチャーの設定を行います。(追加、編集、削除)

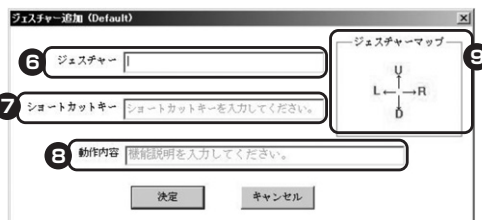
②現在登録されているジェスチャーの一覧  
現在登録されているジェスチャーの一覧が表示されます。④で選択されているアプリケーションが表示されます。また、新規ジェスチャーの登録もこのウィンドウで行います。

③登録されているアプリケーション一覧  
現在ドライバに登録しているアプリケーションの一覧が表示されます。  
※Defaultとは、Windows内のファイルエクスプローラ(フォルダなどの中を表示するウィンドウ)や、ここに登録されていないアプリケーションで反映されるものです。

④新規アプリケーション登録などのメニュー  
各アプリケーションの追加や削除、ジェスチャーの設定の保存や読み込み、初期設定に戻すなどのメニューが表示されます。

### ●ジェスチャーの追加方法

- ②のウィンドウ上で、右クリック(メニュー)すると、ジェスチャーの追加、編集、削除を行えます。上記画面
- ⑤で「ジェスチャー追加」を選択すると、下記の画面が表示されます。



⑥「ジェスチャー」枠をマウスで選択します。登録したいジェスチャー(動き)をマウスのジェスチャーボタンを押しながらマウスを動かして登録します。(例えば「右・下・左」とコの字にオレンジ色の軌跡を描く)または⑨「ジェスチャーマップ」にある対応する英字を連続で入力することで(例えば、「上、右、下ならURD)、動きを登録できます。

次に、⑦「ショートカットキー」枠をマウスで選択し、実際に動作するキーボード操作を入力します。例えば、「コピー」を割付けたい場合、ここで「Ctrl」を押しながら、「C」を押します。

※Windowsショートカットキーの一覧は、⑩「主なWindowsショートカットキー」タブをご覧ください。  
※「Ctrl」や「Alt」、「Shift」などには左右の区別があります。

最後に、⑧「動作内容」枠をマウスで選択し、動作内容の名称を入力します。上で用いた例の場合、ここに「コピー」と入力します。  
※表示されなくてもいい場合には、空欄で構いません。

入力が完了したら、「決定」をクリックし、ドライバのトップ画面に戻ります。その後、ジェスチャー一覧に今登録された内容が表示されていることを確認し、「適用」をクリックすると、反映されます。

### ●登録アプリケーションの追加



①メニューの「新規」をクリックします。  
新規をクリックすると、左のような画面が表示されます。リストに入っているものは、初期登録されている汎用性のあるアプリケーションと、追加したアプリケーションの一覧です。  
このリストにないものを追加する場合は、「任意のプログラムを追加可能」を選択してください。すると、ファイルエクスプローラーが表示されますので、任意のアプリケーションを追加してください。(アプリケーションの保存場所は、お客様の選択により異なりますので、対象のアプリケーションをインストールしたフォルダをお探しください。)

## 12.ドライバソフトの特長(続き)

### ●登録したジェスチャーを保存する

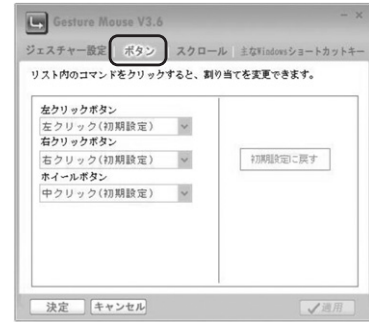
登録したジェスチャーを保存する場合には、④の「書き出し」をクリックしてください。そうすると、ファイルエクスプローラーが表示されるので、保存したい場所に保存してください。保存しておくことで、一度ドライバをアンインストールしても、再度インストールした際に「読み込み」をクリックしてそのファイルを選択すると、設定を呼び戻すことができます。

注意:設定保存のファイルは、お客様のわかりやすいフォルダにしてください。同「フォルダ内」に作成しますと、アンインストール時に設定ファイルが消えてしまいます。

### その他設定

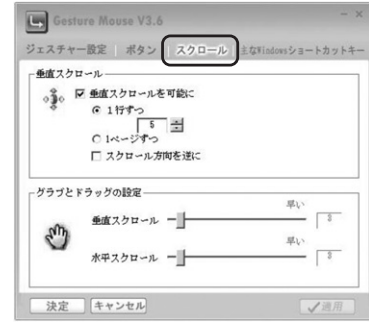


### ⑩ ボタン設定



この画面では、左ボタン、右ボタン、ホイールボタンの割当ての設定を行うことができます。メニューから割当てたい機能を選択し、右下の「適用」をクリックすれば、設定が反映されます。

### ⑪ スクロール設定



スクロールに関する設定を行います。  
●垂直スクロール  
垂直スクロール(スクロールボタンを前後に回転)させたときの動作設定を行います。

●グラフとドラッグの設定  
インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このボタンを押しながら左クリックを押し、マウスを上下左右に動かすことで、縦スクロール・横スクロールが可能になります。この画面でスクロールスピードを設定することができます。

### ⑫ 主なWindowsショートカットキー一覧



Windowsに標準的に対応しているショートカットキーの一覧を見ることができます。ジェスチャーの登録をする際に、こちらを参考にすれば、割当てたいキーボード操作を簡単に確認できます。

### ■ドライバ使用時における注意

- マウスジェスチャーが反映されるのは、アクティブなウィンドウで表示されているものです。ボタンを押したアプリケーションならびにウィンドウが反映されるわけではないのでご注意ください。
- 「Default」に登録されたジェスチャーは、④のリストにないアプリケーションで動作させた場合に反映されます。右のリストに入っているものは除外されます。Defaultと同じ動作を④に表示されているアプリケーションに反映させたい場合は、Defaultと同じジェスチャーを個別に登録してください。

## 13.オンライン製品サポート

- お問合せは弊社Webサイト (<http://www.sanwa.co.jp/>) より「サポート」→「お問合せ窓口一覧」→各種お問い合わせ窓口の「Web窓口」→「マウス」のリンクをたどり、サポートフォームに必要事項を記入して送信してください。
- アップデートドライバは、弊社Webサイトより「ダウンロード」→「ソフトウェアダウンロード」→「マウス」にてダウンロードできます。



## 14.保証規定

- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - (1)保証書をご提示いただけない場合。
  - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
  - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内の修理もお受けいたしかねます。
- 4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

## 保証書ラベル貼付欄

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- よくある質問(Q&A)
- ドライバのダウンロード
- 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから



▼「サポート&ダウンロード」コーナーへ



ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

2009.10現在

岡山サプライズンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
 東京サプライズンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990  
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区権町16-7カジャマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078